2024年度入試 口頭試問問題

■人間福祉学部

警察庁が公式サイトで公開している「電動車いすの安全利用に関するマニュアル」を巡り、障害者団体が抗議の声明を公開しています。団体が問題視しているのは、マニュアルにある「飲酒等して電動車いすを利用することは絶対にやめましょう」という部分です。

電動車いすは法律上歩行者と同じ扱いになるため、自動車などのように飲酒をしても飲酒運転とはみなされません。それにもかかわらず電動車いすユーザーに飲酒後の利用をやめるよう呼びかける内容に対し、団体側は「障害者への差別」であると強く批判し、マニュアルの改善を要求しています。

問 1: なぜ、飲酒時の電動車椅子利用をやめるように呼びかけることが「障がい者への差別」となるのでしょうか。

問 2: あなたは飲酒時の電動車椅子の利用をどのように考えますか。

2024年度入試 口頭試問問題

■子ども未来学部

男性の育児休業取得率が 2022 年度、過去最高の 17.13%になった。前年度より 3.16 ポイント上がった。ただ女性の取得率 8 割との差はなお大きい。男女ともに仕事と子育てが両立できるよう、一層の取り組みが必要だ。…(略)…25 年までに 50%、30 年までに 85%という政府目標とはまだ開きがある。規模による差も大きく、従業員 500 人以上が 25.36%であるのに対して、5～29 人では 11.15%だ。政府は 6 月にまとめた少子化対策「こども未来戦略方針」のなかで中小企業への助成拡充を打ち出した。着実に進めたい。

*参考:日本経済新聞 20230826 版

- 問1. 日本では男性の育児休業取得率が、女性の育児休業取得率より低い値となっています。その理由は何だと考えますか？
- 問2. 今後、男性の育児休業取得率が高くなるには、どのような取り組みが必要だと考えますか？考えたことをいくつか挙げてください。

2024年度入試 口頭試問問題

■人間科学部

コロナ禍になり、全国的にひきこもりが推奨される状況の中で、ひきこもり当事者は、一過性にせよ改善するのではないかと考えていた。しかし残念ながら、そうした変化はほとんど起きなかった。これは、筆者個人の経験ばかりではなく、いくつかの報道や当事者の証言を総合して考えると、そのように結論づけざるを得ない。

当事者の家族がひきこもり生活の辛さを体験したことには良い面もあった。それまでひきこもり生活を「楽園」のように考えてきた家族も、実際にひきこもりを経験して、その辛さや苦しみの一部を理解したはずである。

「コロナ禍におけるひきこもり生活がもたらす心理的影響」斎藤環より

問1 筆者は、なぜ、コロナ禍になったことが、ひきこもり当事者を改善させると考えたのでしょうか。

問2 あなたが、ひきこもり当事者の立場に立って、ひきこもり生活の中で感じたことを教えてください。